

ときわの風

常磐大学同窓会会報

2006.7.31

vol. 3

発行：常磐大学同窓会
編集：常磐大学同窓会事務局
水戸市見和1丁目430-1(常磐大学内)
電話 029.232.2511(代)

WIND OF TOKIWA

E-mail dosokai@tokiwa.ac.jp

URL http://www.tokiwa.ac.jp/~dosokai/

二〇〇六年度

常磐大学同窓会総会・懇談会開催

大学は一生涯つきあえる社会資源

二〇〇六年度常磐大学同窓会総会および懇談会が、六月十日(土)に三の丸ホテルで開催され、約七十名の卒業生が一同に会しました。

総会は池田正則会長の挨拶に続き、常磐大学・常磐短期大学学長である高木勇夫名誉会長より「今まで持っていた知識やスキルが短い期間で陳腐化する大変革の時代です。ぜひ常磐大学エクステンションセンターで、新しい知識やスキルを身につけていただきたい。」と挨拶いただきました。続いて議長指名、議事へと進行了、事業報告、決算・監査報告、入会状況報告、役員選任について報告がなされました。議事の決議では、事業計画案、予算案に係る同意が満場一致で可決され、議事は終了し、総会は閉会しました。

懇談会では、常磐大学副学長の柄澤行雄先生に、「常磐大学がますます発展するためにも、ぜひ皆さんの力を今まで以上にお願いしたい。」と挨拶いただきました。また、濱田



敏郎先生、鈴木康平先生、波多野勝先生、佐藤守弘先生、阿部昌信先生、井上繁先生からも挨拶をいただきました。

東京からご参加いただいた人間科学部第十九期卒の小口翔一さんは「常磐大学は、自分にとっては思い出深く、とても勉強になったところです。特にゼミの阿部昌信先生に鍛えられました。」と当時を懐かしんで話して

くれました。また、現在は作家としても活動されている人間科学部第五期卒の景山(旧姓友部)麻里子さんは「卒業生がもつと来やすく、来たいと思うような同窓会を一緒に考えていければと思います。」と話してくれました。

学生時代の思い出話や近況報告など話題は尽きることなく、卒業生同士はもちろん、先生方とも親睦を深めたい、有意義な時間を過ごしました。(総会・懇談会の様子は同窓会ホームページでも紹介しています。)



2005年度 常磐大学同窓会決算書 (単位：円)

収入の部				備考
項目	決算額	予算額	差異額	
会費収入	15,980,000	16,000,000	△20,000	新入会員 797名 既卒者 2名 (計799名)
事業収入	135,000	140,000	△5,000	総会 会費 出席者 66名 × ②2,000円 託児室利用料 6名 × ⑤ 500円
雑収入	573,995	250,000	323,995	預金利息等
小計	16,688,995	16,390,000	298,995	
前年度繰越金	61,927,101	61,927,101	0	運用資金 (30,000,000円) 含む
合計	78,616,096	78,317,101	298,995	

支出の部				備考
項目	決算額	予算額	差異額	
人件費支出	10,000	20,000	△10,000	総会補助 等
消耗品費支出	420	225,000	△224,580	託児室ほか総会関係消耗品
交通費支出	50,540	115,000	△64,460	総会茶費 幹事会出席者(学外幹事) 交通費
慶弔費支出	0	100,000	△100,000	
通信費支出	1,365,130	1,448,000	△82,870	総会案内・会報等 郵送料
印刷費支出	594,510	609,000	△14,490	総会案内・会報等 印刷費
会議費支出	362,105	378,000	△15,895	総会・幹事会 会議費
渉外費支出	2,080	25,000	△22,920	会報原稿執筆謝礼
業務委託費支出	130,605	306,000	△175,395	発送物(会報) 装綴め作業 委託費
雑費支出	1,575	10,000	△8,425	振込手数料等
支援事業費支出	632,120	1,050,000	△417,880	Q様インターネットカフェ用イス・テーブル等贈、学園祭援助
小計	3,149,085	4,286,000	△1,136,915	
次年度繰越金	75,467,011	74,031,101	1,435,910	運用資金 (50,000,000円) 含む
合計	78,616,096	78,317,101	298,995	

2005年度 常磐大学同窓会事業報告

- 学生支援事業**
内容 大学行事への祝金支出(学園祭への援助金)(2005年10月)
インターネットカフェ・ラバツアヘカウウンターテーブル、イスを設置(2006年2月)
- 2005年度常磐大学同窓会総会および懇談会の開催**
開催日: 2005年6月11日(土)
場所: 常磐大学同窓会館
内容: 総会(参加人数 64名)
【報告】2004年度事業報告、決算報告、入会状況
【議案】2005年度事業計画、予算案の協議
総会終了後、懇談会を開催(参加人数 76名)
- 幹事会の開催**
内容 5月: 2005年度事業報告、2005年度決算について 等
7月: 2005年度常磐大学同窓会総会報告 等
3月: 2006年度事業計画、2006年度予算について 等
- 卒業生の個人情報管理**
内容 氏名、学籍番号、住所、電話番号、勤務先、ゼミナール、サークル等
時期 随時更新
- 同窓会会員への大学情報の発信**
内容 同窓会会報「ときわの風」を創刊し、同窓会会員へ送付
時期 創刊号(7月20日発行)、第2号(1月31日発行)
- 常磐大学同窓会ホームページ維持および管理**
内容 総会開催様式の掲載、異動情報受付 等
以上

2006年度 常磐大学同窓会事業計画

月	事業内容
4	
5	幹事会(前年度決算報告、前年度事業報告)
6	総会
7	同窓会会報(第3号) 発送 卒業生状況調査
8	
9	
10	幹事会 学生支援事業(学園祭援助)
11	
12	
1	同窓会会報(第4号) 発送
2	
3	幹事会 (次年度予算案承認、次年度事業計画案承認)

- その他
- 1) 学生支援事業
 - 2) 卒業生の個人情報管理
 - 3) 常磐大学同窓会ホームページ維持・管理
- (補足)
1. 同窓会会報には、総会の議決内容・報告内容を掲載する。
 2. 単年度会報の発行及び発送は、個人情報保護法の完全施行に伴い、2005年度と同様に今年度も見合わせる。
 3. 7月に行う卒業生状況調査では、同窓会活動についての周知と入会の促進のために非会員の方にも発送する。

2006年度 常磐大学同窓会予算書 (単位：円)

収入の部				備考
項目	本年度予算額	前年度予算額	差異額	
会費収入	15,720,000	16,000,000	△280,000	2006年度入会者 (新卒781名+既卒5名×20,000円)
事業収入	140,000	140,000	0	懇談会会費収入(70名×2,000円)
雑収入	250,000	250,000	0	預金利息等
小計	16,110,000	16,390,000	△280,000	
前年度繰越金	75,467,011	61,927,101	13,539,910	
合計	91,577,011	78,317,101	13,259,910	

支出の部				備考
項目	本年度予算額	前年度予算額	差異額	
人件費支出	20,000	20,000	0	総会補助等
消耗品費支出	163,000	225,000	△62,000	印刷用紙、印刷機消耗品、総会関係等
交通費支出	115,000	115,000	0	幹事会出席幹事交通費等
慶弔費支出	100,000	100,000	0	慶弔関係
通信費支出	2,613,000	1,448,000	1,165,000	総会通知、会報送付、 卒業生状況調査等
印刷費支出	814,000	609,000	205,000	会報、封筒印刷等
会議費支出	517,000	378,000	139,000	総会、幹事会等
渉外費支出	15,000	25,000	△10,000	会報原稿執筆謝礼、取材先土産等
業務委託費支出	218,000	306,000	△88,000	発送物装綴め作業
雑費支出	10,000	10,000	0	振込手数料等
支援事業費支出	1,050,000	1,050,000	0	学生支援事業(学園祭援助等)
小計	5,635,000	4,286,000	1,349,000	
次年度繰越金	85,942,011	74,031,101	11,910,910	
合計	91,577,011	78,317,101	13,259,910	



2005年度 体育会活動報告(秋季)

硬式野球部

部長：波多野 一勝
監督：石川 清智
学生代表：小林 泰智
部員数：六十一名

○関甲新学生野球秋季リーグ (二部中一部)

常磐大学	6-1	作新学院大学
常磐大学	4-1	作新学院大学
常磐大学	4-3	作新学院大学
常磐大学	2-1	白鷗大学
常磐大学	3-7	白鷗大学
常磐大学	1-14	上武大学
常磐大学	4-1	上武大学
常磐大学	1-7	上武大学
常磐大学	1-8	山梨学院大学
常磐大学	4-3	山梨学院大学

剣道部

部長：上見 幸司
監督：小澤 聡
学生代表：宮内 勇二
部員数：男子十三名・女子十二名

○男子 第五十四回 関東学生剣道優勝大会 一回戦敗退

○女子 第三十一回記念 関東女子学生剣道優勝大会 二回戦敗退

弓道部

部長：佐藤 保之
学生代表：江幡 環
部員数：男子六名・女子八名

○関東学生弓道選手権大会 秋季リーグ戦

男子(三部中一部) 一勝二敗 一部残留
女子(二部中一部) 三勝一敗 二部残留

上記三部以外にも体育会各部活動しております。今後にご期待ください。

MESSAGE

ものあわれを知る心と 科学的なものの見方の育成

同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察します。人間科学部の森山哲美です。昭和五十八(一九八三)年に常磐大学人間科学部の専任講師として赴任して二十三年がたちました。二十三年といえは、当時この世に生を受けた大方の若者が大学を卒業している年となります。まさに「光陰矢の如し」です。

その間に私も公私ともどもいろいろなことを経験しました。特に私の専門領域である心理学の研究をとおして私が学んだことをこの稿に記して私の近況報告といたします。

私は学生のときから動物を対象にして心理学の実験的研究を行ってきました。おもな研究課題はアヒルやニワトリの「刷り込み」(imprinting)です。これらの動物は、幼い個体とその母親との間の愛着過程を理解する上でとても有効なモデルとなります。

刷り込みの研究から私が学んだことは、人や動物の心は行動であるということ、そして、行動は環境の影響を受けて変化するということです。さらに、私たちは普段から「心」について語っているけれど、それは実体的ない架空の概念であって、行動を説明する力を持たないということです。

どのようなことかと申しますと、ある若者が恋人と付き合っていると、その理由を尋ねると、「好きだから」とか「気が合うから」と言っていて、付き合うという行動を好きとか気が合うという「心」で説明しているということ。つまり「かっこよかったから殴る」「嫌いだから食べない」「面白いから読む」など、例をあげれば枚挙にいとまがありません。

行動をこのように架空の心的概念で説明しても、私たちの生活を変えらることは難しい。重要なのは、かっこよくなるか、好き、嫌い、面白いという「心」は、いったいどのような行動な

のか、それはどのような状況で感じられるのか、それをきちんと説明することだ、そのように考えるようになりました。

私は、心で行動を説明することがいけないことであると思っておりました。むしろ、現在の日本人が忘れていく「ものあわれを理解する心」、すなわち「情緒」を育むには、このような説明はとても重要であると思っています。

しかし、心理学が科学であるためには、そして、若い学生諸君がそのような心理学を大学で本気で学ぶためには、上で述べたような行動の説明の仕方をいったんやめて、科学的に私たちの行動を説明する営みに挑戦する必要があります。必要なのは、そのように思うようになりませんか。

常磐大学で自分の子供と同じ世代の学生諸君と関わるようになり、関わりによって私は、心理学者として、



人間科学部
人間科学研究科 教授

森山 哲美

慶応義塾大学大学院社会学研究科心理学専攻博士課程単位取得満期退学学位：博士(心理学) 専門：行動分析学、学習心理学、比較心理学

そして大学の教員としてどのような研究と教育を行ったらよいのか、その問題の回答を上で述べた経験から知ることができました。

常磐大学の学生諸君に、「ものあわれを知る心」、そして「行動を科学的に見る心」の両方を育ててもらい、広い視点から人間を理解する、その努力を行ってもらえるように働きかける、それが常磐大学での私の目標となっております。

その目標に向けて、同窓会の皆様からはご理解とご支援をいただければ幸いです。

最後になりますが、皆様のこれからのますますのご健勝とご発展を祈念してこの稿を終わらせます。

最近1年間で、同窓会事務局が把握している情報を掲載しています。みなさまの情報提供をお待ちしています。

ご結婚された方

佐山 みちるさん
(旧姓 石山)
「人間科学部15期」

大内 卓也さん
「人間科学部15期」

おくやみ

鄭 楽 重 様
「元国際学部教授」
(享年77歳)



編集後記

二〇〇六年四月より、コミュニティ振興学部がコミュニティ文化学科、地域政策学科、ヒューマンサービス学科の三学科体制となり、1棟学生食堂の隣に「ファミリーマート」がオープンし、水戸に新装開店した京成百貨店八階に一時預かり保育の常磐大学ナースリー「Popo」が開設されるなど、常磐大学の様子は刻々と変化を遂げています。

二〇〇六年年度常磐大学同窓会総会

掲載文募集

同窓会事務局では、会報「ときわの風」に掲載する会員の皆さまからの投稿を募集しています。日々の雑感・近況報告などをお寄せください。(編集の都合上八〇〇字程度でお願いします。)なお、掲載された方には、薄謝進呈いたします。

(送付先) 〒311-0185 常磐大学同窓会事務局 または、dosokai@tokiwa.ac.jp

施設紹介

四月三日(月)、常磐大学1棟学生食堂隣りに、ファミリーマート常磐大学店が開店しました。

同店は、これまでの常磐大学購買部に代わり、学生や教職員の利便性向上を図ったものです。

同店では、弁当、おむすび、デザートなどの中食、文房具類などを豊富に取りそろえ、時間帯を問わずキャンパス・ライフをサポートします。

また店舗

営業時間
7:00~22:00

休業日
日曜・祝祭日
春期・夏季・冬期休校期間

売場面積
39.38坪(130.19㎡)

内にはATM(現金自動預払機)、各種エンターテインメントコンテンツの購入が可能なFunaiポットも設置されています。

また二〇〇六年度は常磐短期大学創立四〇周年にあたり、これを記念した周年記念大学グッズ(ボールペン、クリアケース等)の販売もしています。

学生支援報告

二〇〇五年年度学生支援事業の一環として、Q棟一階インターネットカフェ「ラバツア」へ、カウンターテーブル四台と椅子十二脚を寄贈しました。

昼食時等、幅広く学生に利用されることと思います。

